

## 北海道帯広農業高等学校 作物分会小麦班

【帯広市】

### はじまりは？

耕盤層の改善を目指した循環型農業の栽培実践(秋まき小麦栽培)をしています。

有機質肥料のみで栽培が可能な省耕起を導入しています。



土壌調査と意見交換会の様子

### おもな活動



圃場の様子

平成19年に大学の先生に指導してもらい、当校の畑作圃場で「省耕起」による土壌管理法の研究を始めました。  
調査圃場は1haを半分に「慣行区」と「省耕起区」とに分けて、平成24年から小麦の収量調査を実施しています。  
調査の方法としては、「慣行区」は耕起や化学肥料を、「省耕起区」は堆肥がバーク堆肥使用で、品種は「きたほなみ」です。

### ここが自慢

#### 【省耕起による循環型農業の実践】

大手企業が主催する「エコワングランプリ」に、北海道ブロック代表で省耕起について、三重県で発表しました。

肥料の窒素成分量として「省耕起区」は化学肥料基準の1/6程度であることを確認しています。

5年くらいで一区切りを考えていますが、今後も継続して長期的データをとり、研究をしていきたいと考えています。



エコワングランプリに参加

### データ

■代表者:飛谷 淳一さん／設立:2007年／会員:13名

■連絡先:帯広市稲田町西1線9番地

■電話:0155-48-3051

■FAX:0155-48-3052

■E-mail:[obino-z0@hokkaido-c.ed.jp](mailto:obino-z0@hokkaido-c.ed.jp)